

The Ministries of Junichi & Kaoru Saigo in Sano, Japan, and Beyond
For CONNECTING the World in God

The Newsletter For "Saigo Ministries" on April 23, 2023

「思っていたのと違う！」

「遠慮も、退却も、後悔もない / No reserves, No retreats, No regrets」。若き日に憧れた宣教師 William Borden (アイスクリームで有名なボーデン社 2 代目社長とはずだった人物) の言葉である。当時、私は、傲慢にも、そのような生き方が、どこか「私の人生」の歩みになっているかのように「錯覚」していた。「後悔」について言うなら、現在の年になる頃には、「我が人生に悔いなし」と誇らしげに語る自分を思い描いていた。しかし、現実にはこの年になって振り返ると、「思っていたのは全く違う」自分の人生が見えてくる。「後悔なし」どころか、「後悔だらけ(特に、家族に対して)」の人生である。

「遠慮」や「退却」についても同様である。かつて 8 名ほどのスタッフと共に、NY・NJ で 2 教会を開拓・牧会し、更に DC での開拓準備をしていた頃、ビジネスマンのメンバーから苦言を頂いた。「先生、やろうとしていることが多過ぎです。欲張り過ぎですよ」と。教区長からも「そんなスピードだと『空中分解』するぞ」と言われた。イエローカードが出ていたのである。しかし、当時の私には聞く耳が無く、「遠慮」や「退却」のオプションはなかった。その真意を誤解し、イッパシに W. Borden 気取りであった。爾後、教会には色々なことがあった。辛いことも、申し訳ないことも・・・一杯あった。

その後も、2000 年秋、ワシントン DC 郊外に三つ目の教会開拓。4 年後、同地の日本人経営の店舗が並ぶショッピング・センターの一角にコミュニティー・センターを開設。更にその 2 年後、北ヴァージニア伝道所をスタート。未熟な牧者の前進はなお続いたが、。

そして、遂に、以前から「ご奉仕の締め括りは日本で」と発表していたように、2021 年 11 月末、コロナのため、皆さんと「一緒に集まって」のお別れと言うようなことはできませんでした(これもまた「思ってたのと違う」でした)が、計略 40 年を過ごした米国を後にして 73 才で本帰国。少しでも元気なうちに残りの人生、日本で最後の一息まで主のために走り切るつもりで張り切っていた決断であった。

ところが、帰国準備開始直前頃よりのコロナ問題、自宅待機、高齢化、原因不明? の Frailty に襲われ、アツと言う間に? 17 キロ体重を失う等々。帰国した頃は、車椅子で、ポロポロ、フラフラ、夢に見た「故郷に錦を飾る」凱旋帰還は「夢のまた夢」。またしても、「思ってたのと違う」現実であった。

しかし、その中で、神様は私の問題を静かに示され始められた。それは、多くの人が、しばしばピリピ 2:13 を前後の文脈を無視し、自分勝手な「野心」遂行のために誤用・乱用するように、私も W. Borden の「遠慮も、退却も、後悔もない」と言う信仰的モットーに同じことをしてきたことであった。

今や、残された人間の力は極めて限られているが、上述の Borden の言葉の真の意味を知り、権力によらず、能力によらず、主の霊によって、任を果たし、主の御許で、今度こそ、「(私の) 思ってた通り」、否、「(主の) お約束の通り」、「良い忠実なしもべよ、よくやった」と言われる者になりたい。

お詫び：昨年の秋から休刊になっていた「NEWS LETTER」を漸く復刊。今後ともよろしく願います。今回、多事項のキャッチアップのため、箇条書きと写真をフラットに並べるスタイルを了承下さい。

News/Reports from Sep '22 – Apr '23

20 定期的集会ご奉仕：橋木・佐野レインボー・チャーチ協力牧師(主任牧師：井川克彦)として

- 毎月 3 回の日曜礼拝メッセージと毎週水曜日の聖書の学び会
- かおる師は、毎週日曜礼拝で音楽のご奉仕

2022 年 9 月～12 月

- **9月25日(日)**：かつて久我山宣教会で一緒に伝道した重城博之先生ご夫妻が牧会される日本宣教会きさらづ教会の礼拝でメッセージのご奉仕。前日から伺い、ゆっくりとお交わりができた。美しい会堂と三人の娘さんが、それぞれ全家族で、伝道者として、また信徒として熱心に参加しておられる姿に感動。
- **10月9日(日)**：レインボーチャーチの礼拝に折々に参加しておられるクリスチャンの婦人からグランドピアノが捧げられ、この日、献呈式が持たれました。

- **10月11-14日**、ワシントン D.C.の桜まつり・ストリートフェスティバルで「着付け」部門でご奉仕下さった山村富貴子さん（未知 Lee さんの叔母）が神戸から訪ねて下さり、共に那須、会津の旅をしました。道中、車の中で信仰の話をできたことも感謝でした。
- **11月22日**：早くも米国から本帰国して成田空港を経て佐野に着いて満一年が経ちました。一年間の守りと祝福の背後におられた神様と皆様に感謝を捧げた。
- **11月26日(土)**：久我山宣教会時代の後輩牧師、山田誠路、河野美紀両師の結婚式が日本宣教会の本部・代田教会で、教団委員長、小坂嘉嗣師のもと、執り行われ、我が家の三人も久しぶりに会う日本宣教会の先生方と共にの参列することができ、お二人の門まる出を祝うことができました。
- **11月27日(日)**：新澤明彦、幸子先生御夫妻の牧会される日本宣教会西調布キリスト教会の礼拝でメッセージのご奉仕。同教会には、私が渡米前に特別集会講師として伺ったことがありました。その時のタイトル、「ゆるぎなき人生への招待」に心動かされたご婦人が参加し、その集会で明確な信仰を持ちました。その方のご主人の入信に至る道のりを社会的に立場のある方でしたが、今回新澤先生にお会いして
-

シンシナティ日本語

ひ

。教会(JCCC)との交わり

- お父様のため訪日中の**太田重義さん**が、横浜から**6月18日**、**7月3日**の2回にわたって佐野をお訪ねくださり、楽しいお交わりと共に、私のメッセージ録画に関する準備・セットアップの助けをしてくださり、3日には共に SRC で礼拝を守ることもできた。
- **8月22日**：**酒井啓介・理恵子先生**（現坂戸改革派キリスト教会牧師。今も JCCC のためご協力下さっているが、貴重な休暇の一部を割いて、埼玉からお訪ねくださり、幸いな交わりの時をもった。
- **8月21日**：久しぶりに**オンラインで JCCC の皆様とご一緒に礼拝を守る**ことができた。**メッセージは、時差もあったので、念のため録画**させて頂いたが、かおる師共々にオンラインでのフェロシップ・タイムに参加して皆様の顔と声に触れることができたことは大きな喜びだった。

旧久我山宣教会(私たちの出身教会)の仲間たちとの再会・交わり

- **7月4日**：木更津宣教会牧師**重城博之・美代子先生**が、佐野にお訪ねくださり、旧交を暖めた。
- **8月25日**：上述の博之先生をもう一人の友人馬場一憲さんと一緒に、中学時代に久我山の教会に導いた**大塚一雄さんも、恵子夫人と共に**、東京日野市から拙宅までお訪ね下さり、ノアの井川夫妻も加わって楽しく、励ましに満ちた交わりの時をもつことができた。

プリンストン日本語教会関係から

- **8月22日**、プリンストン日本語教会時代に、神学校で学びつつメンバーとして参加・協力くださっていた**石川和男先生**が、現在牧師をしておられる愛知(長久手長老教会)から、ご実家である隣接の栃木市に帰郷の折、奥様と共にお訪ねくださり、旧交を温めた。

家族・親族との再会と交わり

- **7月16日**、**かおる師の姉小川ゆりさん**と井の頭線久我山駅で会う。互いの家族・教会の報告をしながら、久しぶりの In-Person での交わりを楽しんだ。
- **同日**、近くまで来たと言うことで、「吉祥寺」へ移動。小学校 1-3 年生まで(父の転勤)お世話になった「**成蹊小学校**」の校舎を懐かしく訪ねた。折しも同校の小・中・高・大卒である阿部元首相の銃撃事件直後、花を手向ける多くの人々の姿があった。小生が同校で過ごしたのは僅か 3 年間であったが、担任であった秋田出身の**佐々木金之助先生**から受けたものは、小生の人生にとって極めて大きかった。焼却炉に飛び込むなど、腕白だった小生、一杯迷惑もかけた。34 才で私が渡米したとき、彼はクリスチャンではなかったが、わざわざ教会まで訪ねて来てくださった。忘れられない思い出である。
- **8月14日**：同じく井の頭線久我山に住む**私の姉深澤喜美子**と待ち合わせして、調布にあるメモリアル・ガーデンにて、家族 4 人でささやかな**墓前礼拝**をした。ここには、姉の夫君深澤格三氏と西郷の両親が葬られている。詩篇 48 篇を読み、味わい、アメージング・グレースを歌った。姉無くして、我が家の「全家」の救いは無く、私たち夫婦の出会いも無く、しのぶも宣子もない。墓前で、今更のように、十字架から始まり、我が家族にまで届けられた主の愛の軌跡を迎える恵みのときであった。

この他にも、様々な媒体を通して、多くの助け、励まし、交わり、聖言の分かち合いを頂いて来た。感謝!!

●9月の祈りの課題として:①霊肉の健康のため ②ご奉仕のため(9/4,11,18のレインボーチャーチ、9/25木更津宣教会礼拝のご奉仕、毎週水曜の聖研ほか) ③経済的必要のため ④これまでに個人的に、また教会を通してお会いして来た方々を全国的に訪ね、もっとイエス様を伝えられるように。

●この④について、最近、特に、帰朝後の私たちの重要使命として、かおる師と共に再確認していた矢先、8月末TVのニュースで、**久野綾希子さんの逝去**を知った。彼女は、長く劇団四季のトップ・スターとして、ウェストサイド・ストーリー、キャッツ、エビータなどのミュージカルで初代の主役を演じ、退団後もマンマ・ミーヤ、異国の丘など数々の有名舞台で活躍した女優である。実は、彼女が1999年のクリスマス直前、当時ANAのパイロット中川博さんとの内輪だけの結婚を考え、急なことだったので、友人であったNYでビジネスを営む橋本修夫妻に相談。橋本氏は関学中等部時代の小生の親友であったので、早速に場所の件と司式の依頼を頂いた。式後、中川(久野)ご夫妻とは2回お会いした。一回は三谷幸喜演出で渋谷パルコで公演されたコメディーにご招待頂き、お食事を共にした時。もう一回は、橋本氏も交えて恵比寿のご夫妻のお宅にお招き頂いて一宿一飯のもてなしを頂いた時であった。ご夫妻とも心の低い方々で福音にも真摯に耳を傾けて下さったが、それ以降は、気に掛けながらも、互いに忙しく、中々お会いすることができないままであった。ご夫君中川博さんの上に、神様からの豊かなお慰めを祈るとともに、時をみてお会いできればと祈っている。この件、神様からの再召命と自覚している。

以上ご報告まで。皆様の上に愈々豊かな神様の御祝福を祈ります。 在主 2022年9月11日
西郷純一、かおる、しのぶ、宣子エスター(Phila., PA)

<皆さまのお祈りとご支援に心から感謝します>

- 「西郷純一・かおるを支える会」：UFJ 川越支店(382)：(口座名・番号)西郷純一かおる師を支える会・事務担当馬場一憲・普通 預金 3818778 問い合わせ：0492-41-7048
- 西郷かおるのPAYPAL アカウント(下記西郷かおるのEmail Address 使用)
- 連絡先：西郷純一・かおる(〒327-0847 栃木県佐野市天神町 868)
- 電話：純一(090)3279-3150/かおる(090)5678-3150
- Eメール：純一 saigojunichi@gmail.com かおる saigokaoru@gmail.com